

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月26日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市博多区吉塚六丁目6番36号

氏 名 株式会社 環境開発

代表取締役 牟田義彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-611-5237

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 環境開発
事業場の所在地	福岡市博多区吉塚六丁目6番36号
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

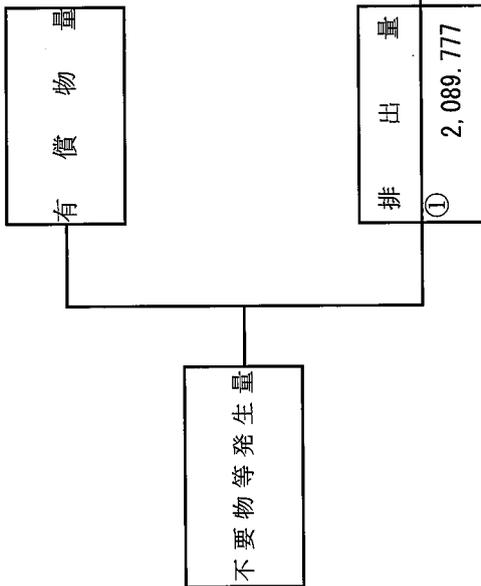
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,792.7 t	全処理委託量	3,492.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	優良認定処理業者への処理委託量	2,182.4 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	3,230.3 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	100 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

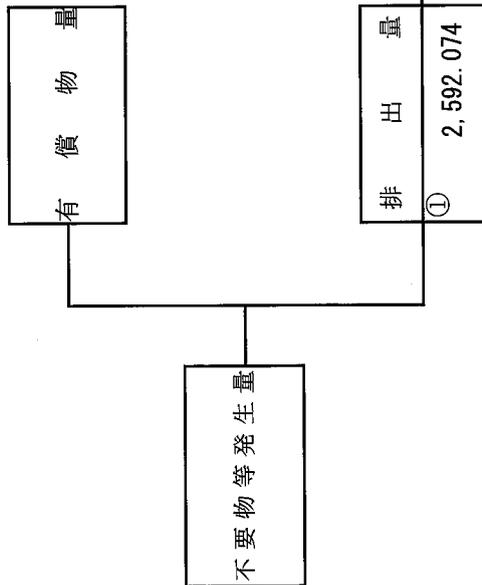
(産業廃棄物の種類： 汚泥)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	2,089.777 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	290.812 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	203.605 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1,595.36 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,205.96 t
⑫再生利用業者への処理委託量	982.66 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： がれき類)



自ら中間処理した後の再生利用した量
⑧

自ら直接再生利用した量
②

排出量
① 2,592.074

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

項目	実績値
①排出量	2,592.074 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	2,592.074 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	878.90 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,019.396 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理した量
④

自ら中間処理により減量した量
⑦

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 1,019.396

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

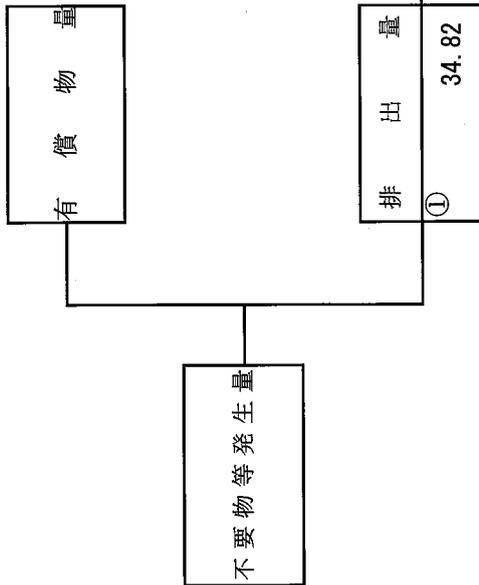
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 2,592.074

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 878.90

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	34.82 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	34.82 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	19.60 t
⑫再生利用業者への処理委託量	19.60 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： 木くず)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

① 排出量 15.125

項目	実績値
①排出量	15.125 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	15.125 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.20 t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.025 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 14.025

④ ④のうち熱回収を行った量

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑦ 自ら中間処理により減量した量

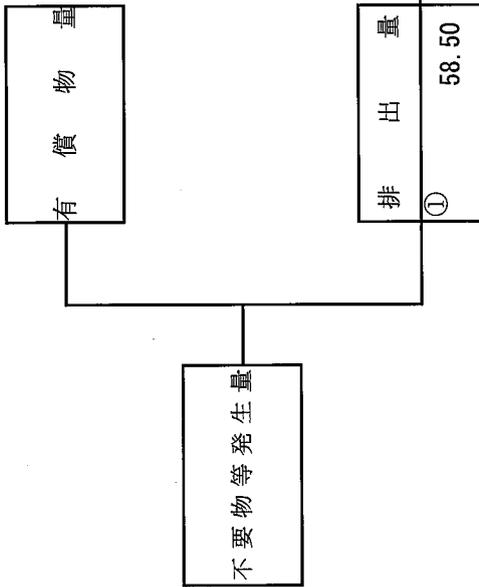
⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 15.125

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 2.20

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物(管理型含む))

計画の実施状況



排出量	58.50
①	

項目	実績値
①排出量	58.50 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	58.50 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	27.43 t
⑫再生利用業者への処理委託量	27.43 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

自ら中間処理した後の再生利用した量	⑧
-------------------	---

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③
---------------------	---

自ら中間処理した後の残さ量	⑥
---------------	---

自ら中間処理により減量した量	⑦
----------------	---

自ら中間処理した量	④
-----------	---

④のうち熱回収を行った量	⑤
--------------	---

自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨
---------------------------	---

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩
58.50	

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪
27.43	

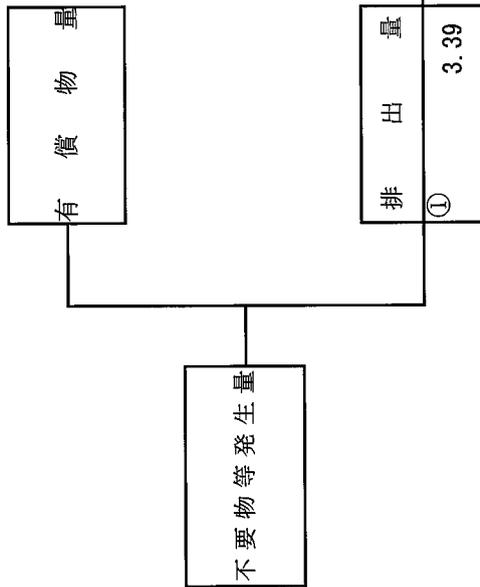
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫
27.43	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬
--------------------	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭
-------------------------------	---

(産業廃棄物の種類： 金属くず)

計画の実施状況



自ら中間処理した後に再生利用した量 ⑧

自ら直接再生利用した量 ②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③

排出量 ①
3.39

⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫

自ら中間処理した後に自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨

自ら中間処理した後の残さ量 ⑥

自ら中間処理した量 ④

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩
3.39

自ら中間処理により減量した量 ⑦

④のうち熱回収を行った量 ⑤

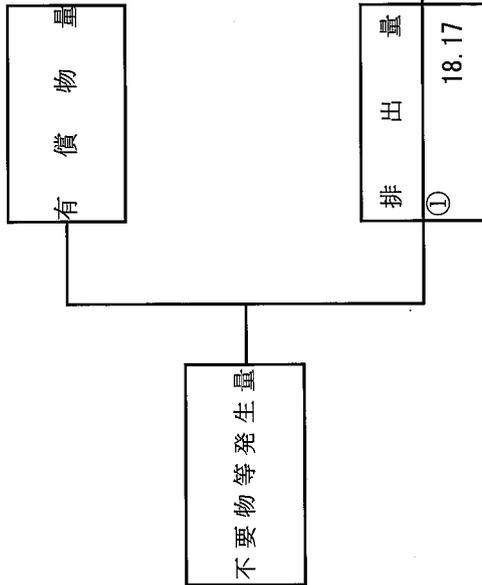
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪

項目	実績値
①排出量	3.39 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	3.39 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： 廃石膏ボード)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	18.17 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	18.17 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

(産業廃棄物の種類： ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

⑧ 自ら中間処理した後 再生利用した量

② 自ら直接 再生利用した量

排出量	31.23
①	

③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

⑨ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量

項目	実績値
① 排出量	31.23 t
② + ⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③ + ⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩ 全処理委託量	31.23 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.00 t
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	6.00
⑫	

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	

④のうち熱回収を行った量
⑤

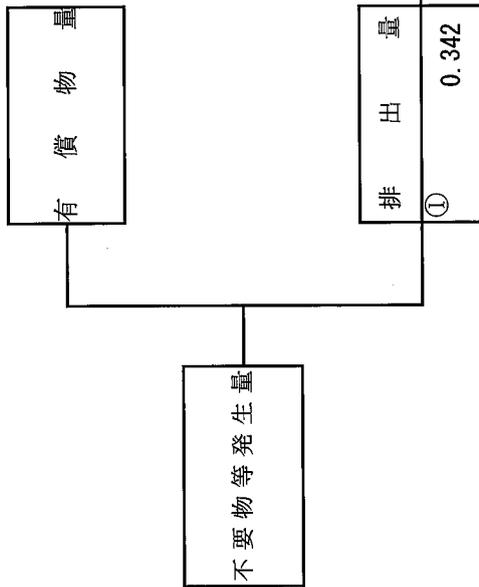
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	31.23
-----------------------	-------

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	

燃え殻 (産業廃棄物の種類)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	0.342 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.342 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 26日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住所 福岡市博多区吉塚六丁目6番36号

株式会社 環境開発

氏名 代表取締役 牟田義彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

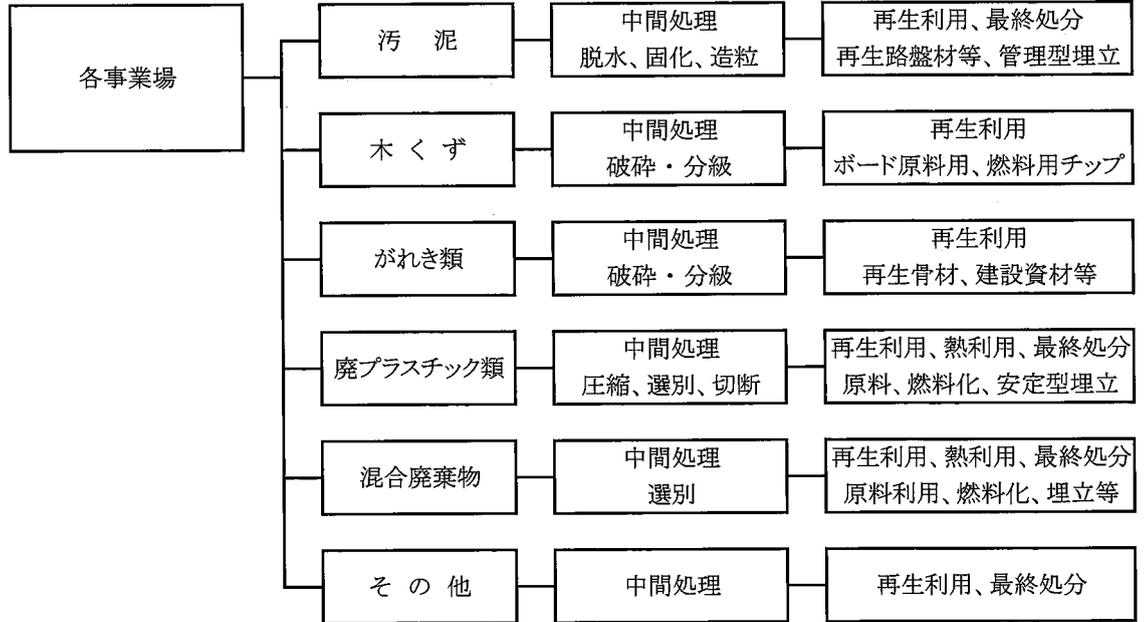
電話番号 092-611-5237

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

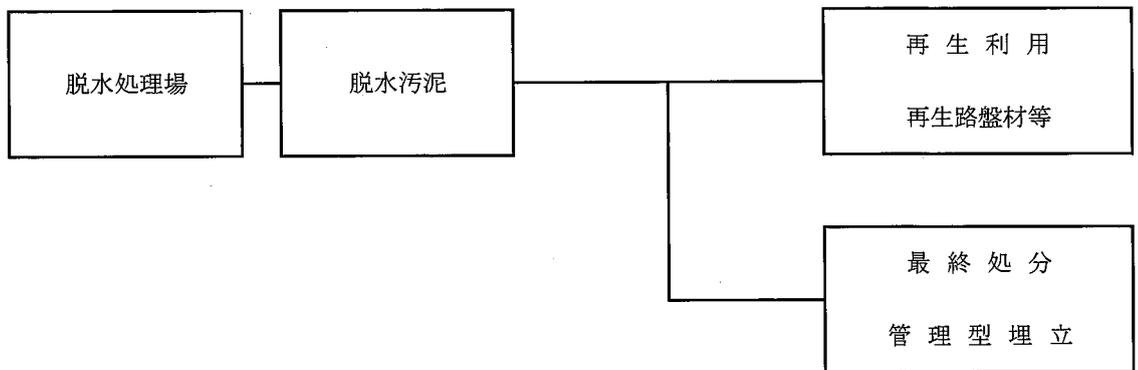
事業場の名称	株式会社 環境開発
事業場の所在地	福岡市博多区吉塚六丁目6番36号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	資本金 1億円
③従業員数	329 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

④産業廃棄物の一連の処理の工程

処理工程図1
(各施工現場)



処理工程図2
(自社汚泥脱水処理場)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類

別紙3のとおり

排 出 量

t

t

(これまでに実施した取組)

事業場内においての分別の徹底を行い、再生利用を進める事で、廃棄物の発生を削減する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

別紙3の通り

排 出 量

t

t

(今後実施する予定の取組)

分別方法の見直しをはかり、再生利用量を増やす事で、廃棄物の発生の更なる削減を目指す。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

廃プラスチック類及び建設混合廃棄物等については、原料として再生利用が可能な物を分別する。

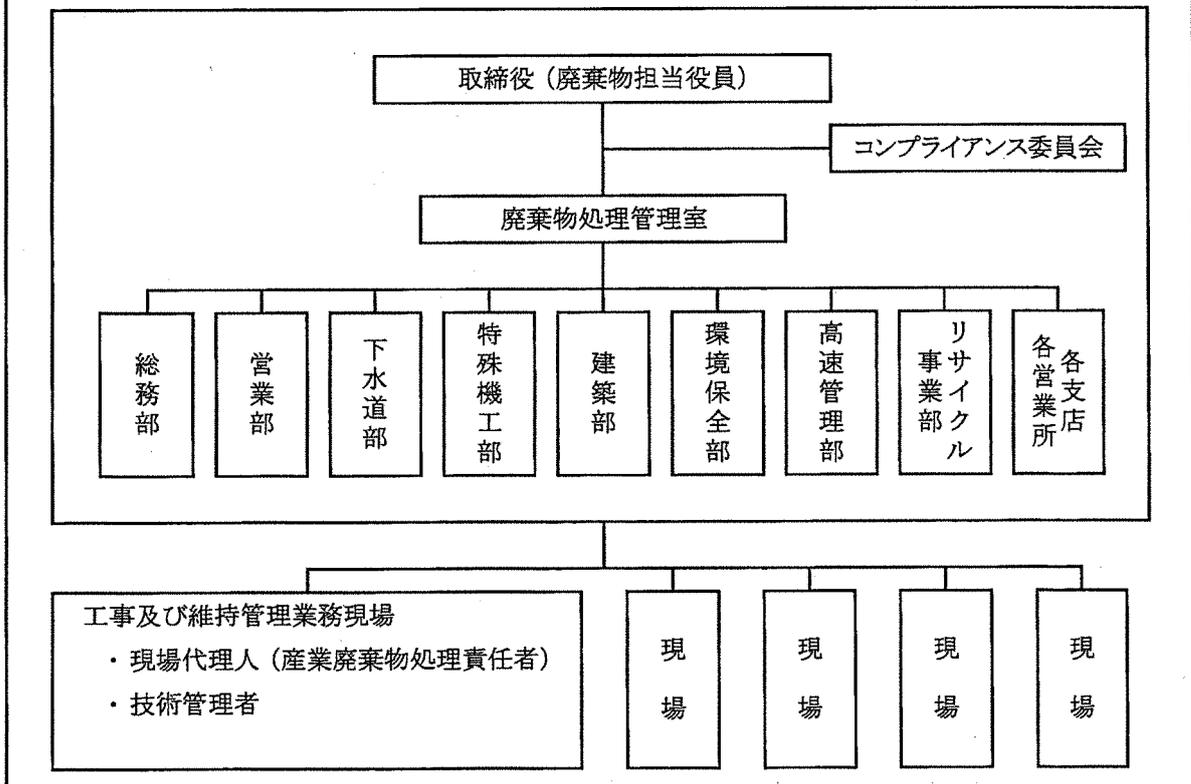
②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

廃プラスチック類及び建設混合廃棄物等の分別率増加を促進する。

統括責任者		取締役 XXXXXXXXXX
廃棄物担当		組織名：コンプライアンス委員会 組織人数： 20 人
		組織名：廃棄物処理管理室 組織人数： 3 人
役割	コンプライアンス委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理法、その他環境関連法令など法令の遵守及び社会的要請に応じていく為の方針の検討及び監査を実施する。 ・ 委員長 - 総務部所属長 ・ 委員 - 関連部署部長、各支店長、営業所長 ・ 事務局 - 総務部
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会により検討された廃棄物処理方針の決定、承認 ○ 廃棄物管理規定の決定、承認 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物処理管理室	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握及び改善策の検討 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○ 脱水処理施設の管理等 ○ 産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ○ 各現場に対する情報提供、支援及び指導 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織



自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 凝集剤の種類、混合比等の研究により汚泥凝集率を高めた。 脱水機の調整等により脱水効率を高めた。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 固形物等の除去率を高めて汚泥脱水効率を上げる。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 自社で産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 自社で産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行っていない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) がれき類の再生利用業者への委託の徹底。 木くずの再生利用業者への委託の徹底。 汚泥の再生利用が可能な業者の選定。 優良認定処理業者の選定及び委託量の増加。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者に対する委託を積極的に行う。 再生利用業者に対する委託量の増加を行う。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

